



2025年7月 かんべ小児科

病児保育だより



梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。高温多湿なこの時期は、体調を崩しやすくなる時期です。

屋外に出る時には帽子をかぶり、こまめに水分補給をするなど、熱中症対策を心掛けましょう。

また、夏かぜが流行する時期でもあります。手洗いうがいなどをしっかり行い、引き続き感染症予防をしていきましょう。

ヘルパンギーナってなに？

ヘルパンギーナとは、乳幼児がかかりやすい夏かぜの一種で、夏から秋にかけて流行します。

主にコクサッキーウイルスが原因で引き起こしますが、ウイルスの型が数種類あるため、何度もかかってしまうことがあります。

乳幼児に多い感染症ですが、大人の方でもかかることがあります。

主な症状

38℃以上の急な発熱と喉の痛み、喉の奥に出来る水疱が特徴です。扁桃腺の上の方に小さな水疱が数個から数十個出来ることがあります。水疱が破れると口内炎のような潰瘍になり、痛みが強まります。よだれが増えたり、痛みにより食欲が低下したり、水分が取れなくなることもある為、脱水症状に注意が必要です。

こまめな水分補給を行い、口当たりのいい食べ物を選び、少しずつ食べさせてあげましょう。

潜伏期間・感染経路

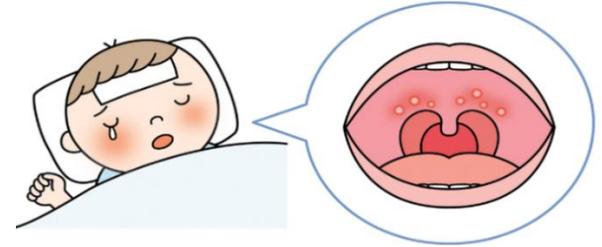
潜伏期間は2～4日です。感染経路は咳やくしゃみなどによる飛沫感染、唾液や鼻水などのついたおもちゃの貸し借りによる接触感染、便から排出したウイルスが手に付着することで感染する糞口感染があります。

保育園や幼稚園では、乳幼児間での接触が多いため、集団発生することがあります。感染対策を行うことが大切です。

治療方法

特別な治療方法はありません。

口腔内の痛みや脱水、摂食困難に対する対症療法になります。



☆食べやすいメニュー☆

おかゆ、豆腐、うどん、スープなど
味が薄くて柔らかいもの！

プリンやゼリー、アイスなども食べやすい♪

避けた方がいいもの

熱いもの、塩味、酸味が強いもの
固いものなど

☆予防方法☆

○せきエチケットや手洗いうがい

○玩具や食器、テーブルなどの
洗浄・消毒

○おむつ交換後の十分な手洗い
(症状が治まった後の便にも数週間
ウイルスが存在します。)



☆登園のめやす☆

発熱がなく、食事が摂れるようになったら！
園によっては許可証が必要な場合もある為、
通っている園に確認しましょう。

6月に利用された方の病気

インフルエンザ B 型 喘息性気管支炎

急性中耳炎 溶連菌感染症 嘔吐症

急性胃腸炎 急性上気道炎

アデノウイルス気管支炎

嘔吐下痢症 水痘 など

かんべ小児科 病児保育室

TEL:0956-47-5711

090-3206-5711

(保育室直通)

お気軽にお問い合わせください

